

提出日：平成 26 年 6 月 17 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- (1) 航海番号： MR14-03
- (2) 船舶名： 海洋地球研究船「みらい」
- (3) 航海名称： 平成 26 年度 所内利用 「みらい」性能確認試験航海
- (4) 首席研究者： 太田 晴美 [JAMSTEC 海洋工学センター運航管理部]
- (5) 航海期間： 平成 26 年 6 月 2 日～平成 26 年 6 月 11 日
- (6) 出港地～寄港地～帰港地の情報： 三菱重工業株式会社下関造船所～横浜新港 No.8 埠頭
- (7) 調査海域名： 四国沖、紀伊半島沖、伊豆小笠原諸島周辺、伊豆小笠原海溝周辺

2. 実施内容

- (1) 機関関連作動確認
- (2) 船体固定観測装置類作動確認

表 1 に示す観測装置について、作動確認試験を実施した。また、ピストンコアウインチと小型 CTD ウインチに関しては、ケーブルのフリーフォールにより作動確認を実施した。減揺装置については、航行中適宜データ取得を行い、減揺効果を確認した。

表 1：作動確認実施船体固定観測装置類一覧

No.	装置名称
1	ADCP
2	マルチビーム音響測深装置 (MBES) / サブボトムプロファイラ (SBP)
3	セシウム磁力計
4	船上三成分磁力計
5	船上重力計
6	XCTD / XBT
7	高層気象観測装置
8	音響航法装置
9	総合海上気象観測装置 / SOAR
10	波高計
11	シーロメーター
12	衛星データ受信装置
13	電波航法装置 / 船内データ管理システム
14	ドップラーレーダー

(3) 分析装置類作動確認

表 2 に示す分析装置について、保守点検、調整および作動確認を実施した。

表 2：保守点検、調整および作動確認実施分析装置類一覧

No.	装置名称
1	CTD 採水システム
2	塩分測定装置
3	溶存酸素測定装置
4	栄養塩分析装置（4ch）
5	全炭酸測定装置及び表層海水全炭酸連続測定装置
6	pH 計
7	アルカリ度測定装置
8	ガスクロマトグラフ
9	高速液体クロマトグラフ
10	蛍光光度計
11	分光吸光光度計
12	表層海水連続測定装置
13	大気海水 CO ₂ 連続測定装置
14	生物生産量測定用質量分析計
15	超純水製造装置
16	冷蔵庫・冷凍庫・製氷機・低温冷凍庫・超低温冷凍庫
17	乾燥機・電気マッフル炉類
18	ドラフトチャンバー類
19	クリーンルーム
20	大気吸引関係装置類
21	表層海水採水ポンプ
22	コア写真撮影装置
23	ソフトX線写真撮影装置
24	ソフトX線写真現像装置
25	システム生物顕微鏡
26	分光測色計
27	マルチセンサーコアロガー

3. 実施結果

機関関連及び、船体固定観測装置類・分析装置類に示す機器について、作動確認を実施した。

音響航法装置の試験において設置予定のトランスポンダに不具合が発生し、補正傾斜角取得は実施できなかったが、機関・船体固定観測装置・分析装置総じて性能に問題がないことを確認した。

以上

乗船者名簿

乗船者			
太田 晴美	(JAMSTEC 海洋工学センター 運航管理部 計画グループ)		
勝俣 昌己	(JAMSTEC 地球環境研究開発センター)		
藤田 繁	(株式会社グローバルオーシャンディベロップメント 海務部)		
中村 圭佑	(株式会社グローバルオーシャンディベロップメント 海務部)		
村野 隆	(株式会社東芝)		
根本 正史	(東京エレクトロニクスシステムズ株式会社)		
古瀬 健二	(東京エレクトロニクスシステムズ株式会社)		
片山 久仁男	(東京エレクトロニクスシステムズ株式会社)		
松田 貴幸	((有)シンプルロジックシステムズ)		
今関 正典	(株式会社 IHI インフラシステム)		
小池 裕二	(株式会社 IHI)		
高野 慶一	(富士電機株式会社)		
吉原 康行	(株式会社イーエムエス)		
Boris Schulze	(株式会社東陽テクニカ)		
柴田 成晴	(株式会社東陽テクニカ)		
中野 真一	(株式会社オキシーテック)		
観測技術員			
株式会社グローバルオーシャンディベロップメント		株式会社マリン・ワーク・ジャパン	
前野 克尚	(観測研究部)	小澤 知史	(海洋科学部)
末吉 惣一郎	(観測研究部)	片山 健一	(海洋科学部)
奥村 慎也	(観測研究部)	豊田 進介	(海洋科学部)
徳長 航	(観測研究部)	伊藤 零	(海洋科学部)
吉田 一穂	(観測研究部)	若月 園香	(海洋科学部)
大山 亮	(観測研究部)	佐藤 憲一郎	(海洋科学部)
古田 俊夫	(観測研究部)	渡井 智則	(海洋科学部)
稲垣 孝一	(観測研究部)	有井 康博	(海洋科学部)
森岡 美樹	(観測研究部)	高田 信	(海洋科学部)
村上 裕太郎	(観測研究部)	出口 恵美	(海洋科学部)
		小野 敦史	(海洋科学部)
		曾根 知実	(海洋科学部)
		山本 英輝	(海洋科学部)
		桑原 実里	(海洋科学部)
		吉田 加奈子	(海洋科学部)
		松本 慧太郎	(海洋科学部)
		玉田 晴香	(海洋科学部)

実施日程

日程		実施内容
平成 26 年		
6 月 2 日（月）	三菱重工業株式会社下関造船所出港 機関関連動作試験	<連続作動確認機器> 船上 3 成分磁力計 船上重力計 総合海上気象観測装置/SOAR 波高計 シーロメーター 衛星データ受信システム 電波航法装置/船内データ管理システム 減揺装置 分析装置類については、 本航海中、又は航海前後の下関 造船所及び横浜新港において 随時 保守点検、調整及び作動確認を 実施した。
6 月 3 日（火）	ADCP ボトム検知 小型 CTD ウインチ作動確認、フリーフォール ピストンコアラウインチ作動確認、フリーフォール 音響航法装置作動確認	
6 月 4 日（水）	36 本掛け CTD 採水器作動確認 MBES ロール・ピッチ・ヘディングバイアス試験	
6 月 5 日（木）	MBES 測深精度試験（5000m、2000m） SBP 作動確認	
6 月 6 日（金）	ドップラーレーダー作動確認 小型 CTD ウインチ FF（6800m）	
6 月 7 日（土）	音響航法装置作動確認 小型 CTD 作動確認（5800m）	
6 月 8 日（日）	ADCP/MBES 航走雑音計測 往復十字航走（重力計及び磁力計精度確認）	
6 月 9 日（月）	音響航法装置作動確認	
6 月 10 日（火）	回航（トランスポンダ不具合のため、係留系設置をキャンセル）	
6 月 11 日（水）	横浜新港 No.8 埠頭入港、関係者下船	